



平成31年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年6月12日

上場会社名 オース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9637 URL <http://www.osgroup.co.jp>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 秀一郎
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 森口 武士 (TEL) 06-6361-3554
 四半期報告書提出予定日 平成30年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年1月期第1四半期の連結業績(平成30年2月1日~平成30年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第1四半期	1,691	△9.6	152	△42.6	125	△46.3	81	△49.2
30年1月期第1四半期	1,871	9.9	265	60.0	233	84.4	159	13.8

(注) 包括利益 31年1月期第1四半期 79百万円(△46.9%) 30年1月期第1四半期 150百万円(△27.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年1月期第1四半期	25.64	—
30年1月期第1四半期	50.46	—

当社は、平成29年8月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年1月期第1四半期	28,721	9,707	33.8
30年1月期	29,986	9,667	32.2

(参考) 自己資本 31年1月期第1四半期 9,707百万円 30年1月期 9,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年1月期	—	2.50	—	12.50	—
31年1月期	—	—	—	—	—
31年1月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年8月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。平成30年1月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、株式併合後の基準で換算した平成30年1月期の1株当たり年間配当金は25円となります。

3. 平成31年1月期の連結業績予想(平成30年2月1日~平成31年1月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,400	△3.0	710	10.2	610	3.8	410	△14.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年1月期1Q	3,200,000株	30年1月期	3,200,000株
31年1月期1Q	34,036株	30年1月期	33,971株
31年1月期1Q	3,166,012株	30年1月期1Q	3,166,995株

当社は、平成29年8月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成30年2月1日～平成30年4月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動による影響も懸念され、先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境のなか、当社グループは、中期経営計画の最終年度として、安定した経営・財務基盤を実現するべく取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の成績は、売上高は1,691,504千円と前年同期に比べ180,085千円(9.6%)の減収となり、営業利益は152,269千円と前年同期に比べ112,994千円の減益、経常利益は125,356千円と前年同期に比べ108,267千円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は81,179千円と、前年同期に比べ78,617千円の減益となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。

(映画事業)

映画事業におきましては、邦画作品では「空海-KU-KA I-美しき王妃の謎」「映画ドラえもん のび太の宝島」「名探偵コナン ゼロの執行人」、洋画作品では「グレイテスト・ショーマン」「リメンバー・ミー」「ボス・ベイビー」などの話題作を上映いたしました。

また、本年2月、「OSシネマズ神戸ハーバーランド」のロビースペースを改装し、映画作品の上映に加え、多目的な利用にも対応できるよう収納型ミニテーブル付き座席を採用した「スクリーン10」をオープンいたしました。オープニングイベントでは、活弁士とピアニストによる活弁上演会や上映中にクラッカーや紙吹雪、声出し等が可能なマサラ上映など、話題性の高いイベントを開催し、他館との差別化を図ってまいりました。

売上高は749,812千円と前年同期に比べ76,881千円(9.3%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は54,022千円と前年同期に比べ40,768千円の減益となりました。

(不動産賃貸・販売事業)

不動産賃貸業界におけるオフィスビル市況は、好調な企業収益を背景に、東京都心5区、大阪ビジネス地区ともに空室率は低水準で推移し、賃料水準につきましても上昇基調を維持しております。

このような状況のなか、不動産賃貸事業におきましては、「OSビル」1階都島通り沿いにおいて植栽を取り入れた改修工事を行い、新たな街の賑わいと人々の憩いの空間創出を目的とした「OS広場」の整備を進めるとともに、共用部の美装化工事を実施するなど、保有ビルの資産価値向上に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間末における直接保有ビルの稼働率は100%と満室稼働となりました。

不動産販売業界における分譲マンション市況は、用地代や建築費の高騰により販売価格は高止まりの状況にあるものの、住宅ローン減税や低金利等により住宅取得にとって好環境が継続しております。

このような状況のなか、不動産販売事業におきましては、当期に竣工予定の分譲マンション「プレージア逆瀬川宝梅 ザ・レジデンス」(宝塚市)及び「プレージア西田辺」(大阪市阿倍野区)の販売活動に鋭意取り組んでおります。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間において、分譲マンションの完成引渡ししかなかったことなどにより、売上高は719,712千円と前年同期に比べ92,379千円(11.4%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は258,240千円と前年同期に比べ59,983千円の減益となりました。

(飲食事業)

飲食業界は、個人消費が緩やかな回復傾向にあるものの、原材料価格の高騰に加え、人手不足による人件費の上昇など、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、飲食事業におきましては、営業基盤の強化を図るため、神戸市中央区に「串かつおおえす 三宮2号店」を本年3月にオープンいたしました。また、既存店舗におきましては、運営の効率化を推進し経費削減に取り組んでまいりました。

売上高は89,536千円と前年同期並みとなりましたが、セグメント利益(営業利益)は6,613千円と前年同期に比べ222千円とわずかに減益となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、アミューズメント施設「namco三宮店」の売上を計上しております。

売上高は132,443千円と前年同期に比べ11,268千円(7.8%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は22,783千円と前年同期に比べ4,788千円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は1,265,297千円の減少となりました。これは主に現金及び預金1,319,647千円の減少によるものであります。

負債につきましては1,305,195千円の減少となりました。これは主に長期借入金794,740千円、未払法人税等275,312千円、短期借入金210,570千円及び未払消費税等116,884千円の減少によるものであります。

純資産につきましては39,898千円の増加となりました。これは主に利益剰余金41,604千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年1月期の連結業績予想につきましては、平成30年3月16日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,968,335	1,648,687
売掛金	232,028	317,773
販売用不動産	1,845,365	1,846,984
商品	9,842	10,353
貯蔵品	3,560	2,587
前払費用	81,589	115,332
繰延税金資産	35,395	37,100
その他	67,476	60,695
貸倒引当金	△7,383	△7,383
流動資産合計	5,236,210	4,032,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,272,355	18,341,833
減価償却累計額	△10,130,480	△10,240,432
建物及び構築物(純額)	8,141,875	8,101,401
機械装置及び運搬具	270,371	274,321
減価償却累計額	△142,024	△147,934
機械装置及び運搬具(純額)	128,347	126,386
工具、器具及び備品	685,314	696,260
減価償却累計額	△555,936	△568,377
工具、器具及び備品(純額)	129,378	127,882
土地	12,385,115	12,385,115
信託建物	584,098	584,189
減価償却累計額	△102,761	△111,997
信託建物(純額)	481,336	472,191
信託土地	1,812,608	1,812,608
建設仮勘定	107,892	107,892
有形固定資産合計	23,186,552	23,133,478
無形固定資産		
ソフトウェア	57,481	48,693
その他	310	266
無形固定資産合計	57,792	48,960
投資その他の資産		
投資有価証券	400,514	398,336
長期前払費用	107,089	124,133
差入保証金	629,109	630,663
建設協力金	336,937	326,175
繰延税金資産	16,285	12,227
その他	8,420	8,420
投資その他の資産合計	1,498,357	1,499,956
固定資産合計	24,742,702	24,682,394
繰延資産		
社債発行費	7,904	6,991
繰延資産合計	7,904	6,991
資産合計	29,986,816	28,721,519

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	208,653	257,015
短期借入金	3,550,910	3,340,340
未払金	67,782	27,174
未払費用	244,990	280,121
未払法人税等	319,022	43,710
未払消費税等	163,357	46,473
賞与引当金	29,752	67,239
その他	227,412	246,351
流動負債合計	4,811,883	4,308,425
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	9,562,380	8,767,640
長期預り保証金	1,954,467	1,954,177
繰延税金負債	929,017	926,486
再評価に係る繰延税金負債	1,674,048	1,674,048
退職給付に係る負債	387,053	382,876
固定負債合計	15,506,966	14,705,229
負債合計	20,318,849	19,013,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,507	66,507
利益剰余金	5,979,316	6,020,921
自己株式	△106,010	△106,236
株主資本合計	6,739,813	6,781,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,390	134,910
土地再評価差額金	2,791,763	2,791,763
その他の包括利益累計額合計	2,928,153	2,926,673
純資産合計	9,667,966	9,707,865
負債純資産合計	29,986,816	28,721,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年4月30日)
売上高	1,871,589	1,691,504
売上原価	1,400,251	1,327,123
売上総利益	471,338	364,380
一般管理費	206,073	212,110
営業利益	265,264	152,269
営業外収益		
受取利息	2,355	2,190
その他	227	1,233
営業外収益合計	2,583	3,423
営業外費用		
支払利息	31,927	25,096
その他	2,296	5,239
営業外費用合計	34,224	30,336
経常利益	233,623	125,356
特別利益		
補助金収入	-	10,000
特別利益合計	-	10,000
特別損失		
固定資産圧縮損	-	10,000
固定資産除却損	-	3,832
特別損失合計	-	13,832
税金等調整前四半期純利益	233,623	121,524
法人税、住民税及び事業税	76,048	39,869
法人税等調整額	△2,222	474
法人税等合計	73,826	40,344
四半期純利益	159,797	81,179
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,797	81,179

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年4月30日)
四半期純利益	159,797	81,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,664	△1,480
その他の包括利益合計	△9,664	△1,480
四半期包括利益	150,133	79,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,133	79,699
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年2月1日 至平成29年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸 ・販売事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	826,693	812,091	89,092	143,711	1,871,589	—	1,871,589
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	10,935	—	—	10,935	△10,935	—
計	826,693	823,027	89,092	143,711	1,882,525	△10,935	1,871,589
セグメント利益	94,791	318,223	6,835	27,571	447,423	△182,158	265,264

(注) 1. セグメント利益の調整額△182,158千円には、セグメント間取引消去△944千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△181,214千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年2月1日 至平成30年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸 ・販売事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	749,812	719,712	89,536	132,443	1,691,504	—	1,691,504
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	34,107	—	—	34,107	△34,107	—
計	749,812	753,819	89,536	132,443	1,725,611	△34,107	1,691,504
セグメント利益	54,022	258,240	6,613	22,783	341,659	△189,390	152,269

(注) 1. セグメント利益の調整額△189,390千円には、セグメント間取引消去△952千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△188,437千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。